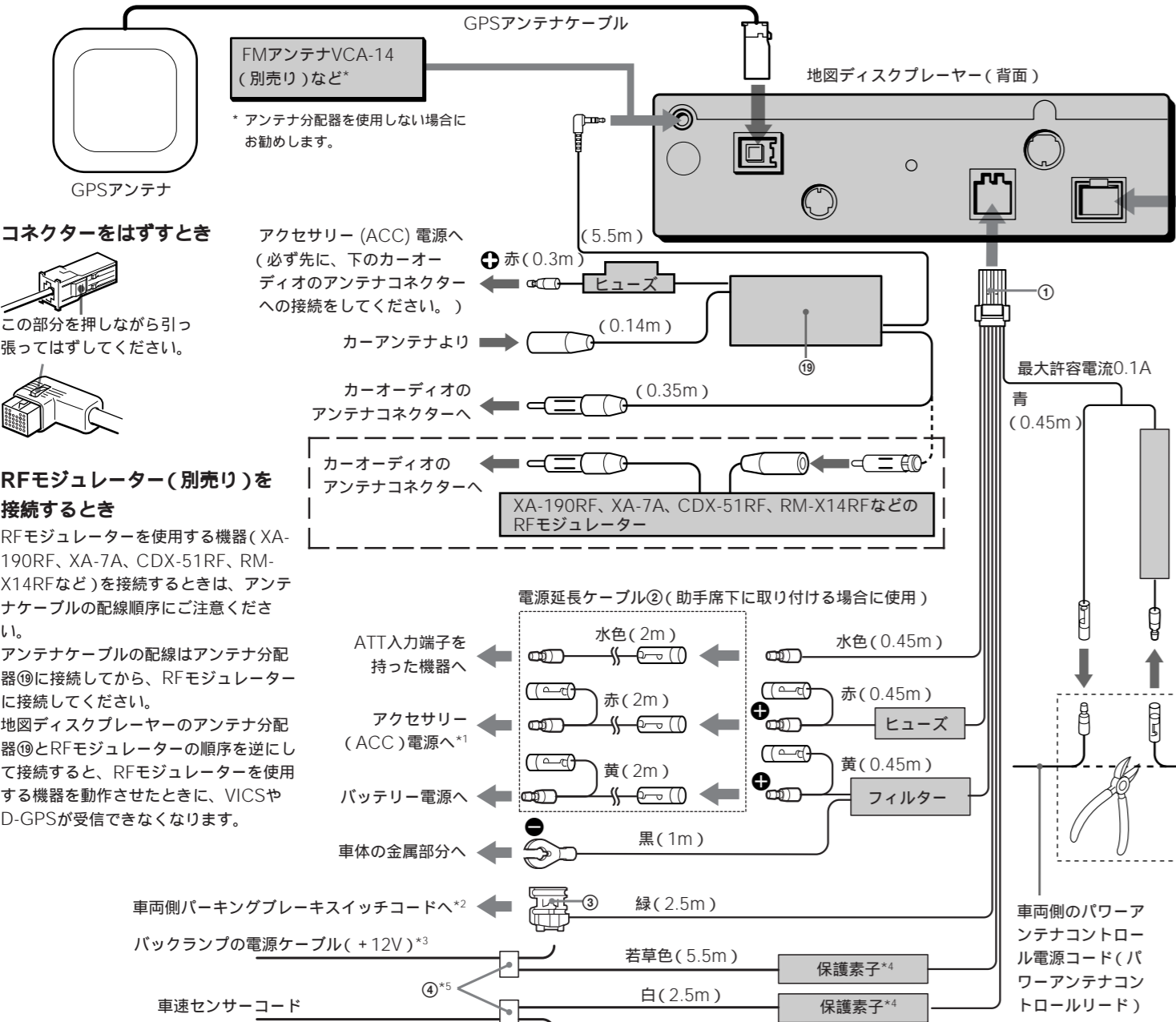


## 接続

### ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、接続作業の最後に行うが、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。  
(ただし、ドライブコンピューターやカーオーディオが取り付けある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、コンピューターやカーオーディオのメモリーの内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。)



- \*1 イグニッションスイッチにアクセサリポジションのない車には取り付けられません。
- \*2 緑色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。
- \*3 必ず車両側車速センサーコード、バックランプの電源ケーブルに接続してください。また、車速センサーコード、バックランプの電源ケーブルについては必ずお買い上げ店にご相談ください。
- \*4 保護素子は絶対に向きを逆に取り付けないでください。
- \*5 圧着式コネクタは保護素子より車側の位置で接続してください。

### ヒューズの交換

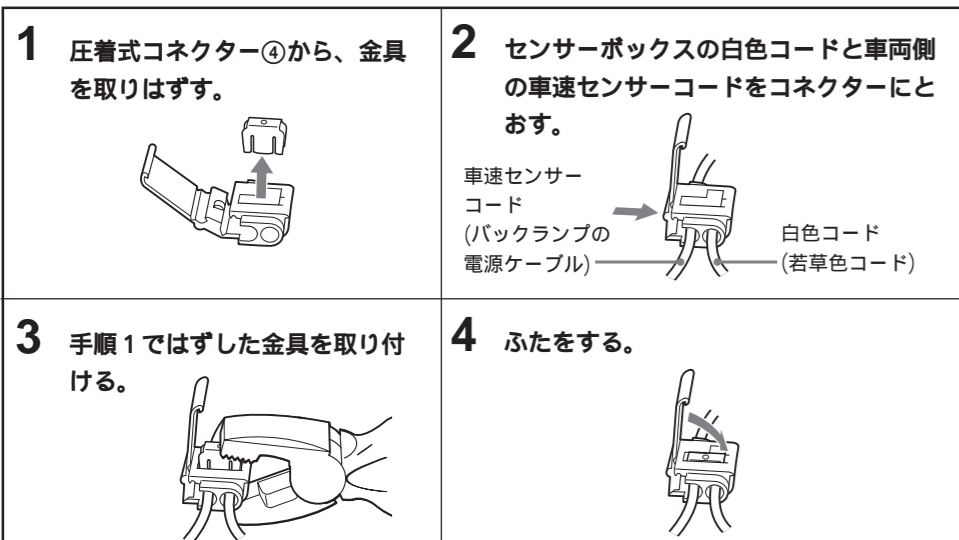
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

## 車速センサーコード/バックランプの電源ケーブルの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源ケーブルを接続しないと、車両後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源ケーブルの位置は車両によって異なりますので、必ずお買い上げ店にご相談ください。

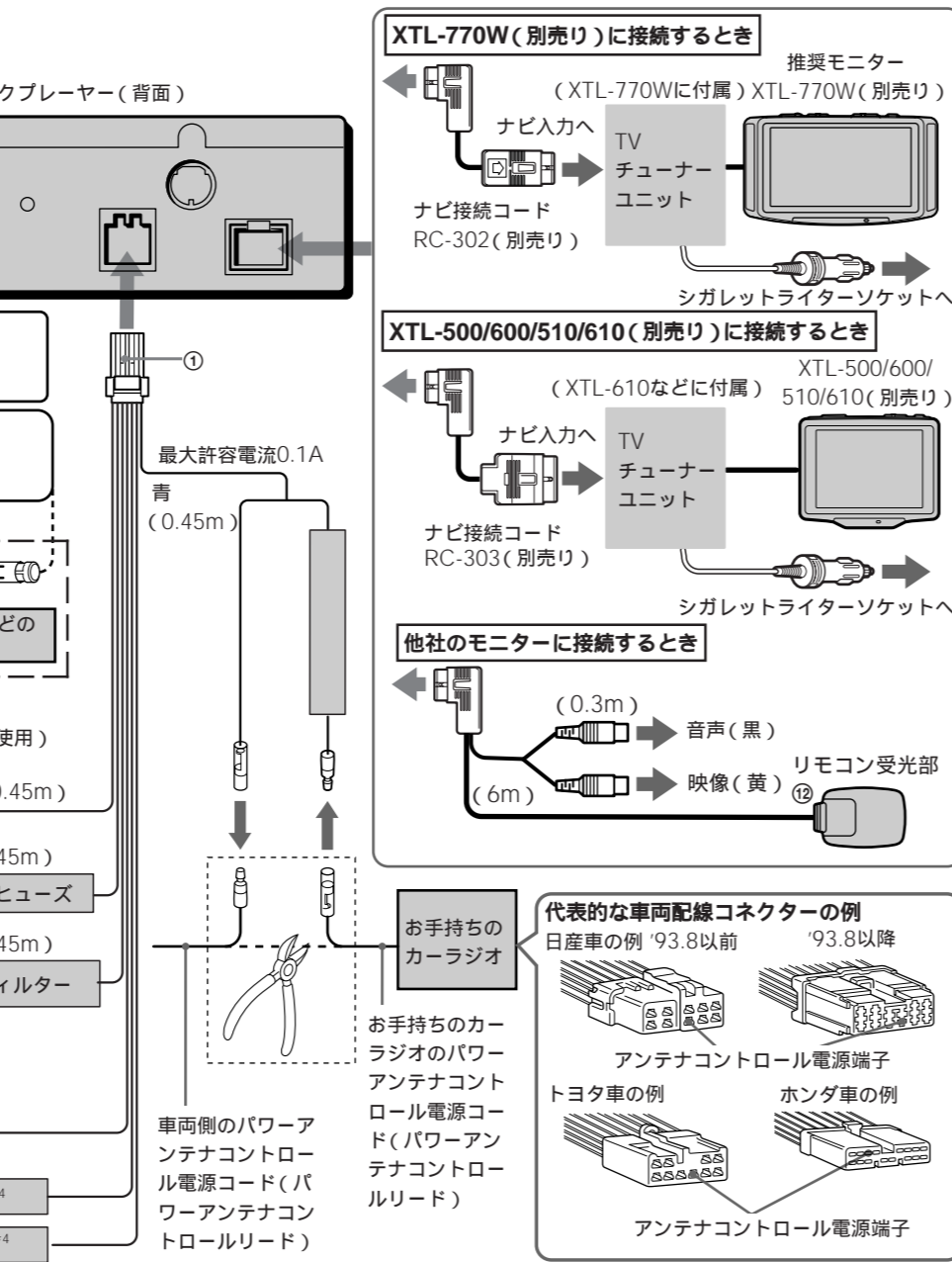
### 圧着式コネクタ(ピンク)④の使いかた

(バックランプの電源ケーブルも同様に取付けてください)



### ご注意

- ・地図ディスクプレーヤーとXTL-770W(別売り)などのTVチューナーユニットは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- ・XTL-770W(別売り)などのTVアンテナは、FM/AMアンテナから離して取り付けてください。
- ・トランクルームに取り付ける場合は、電源延長ケーブル②のかわりに別売りの電源延長ケーブルRC-129P(5m)をお使いください。

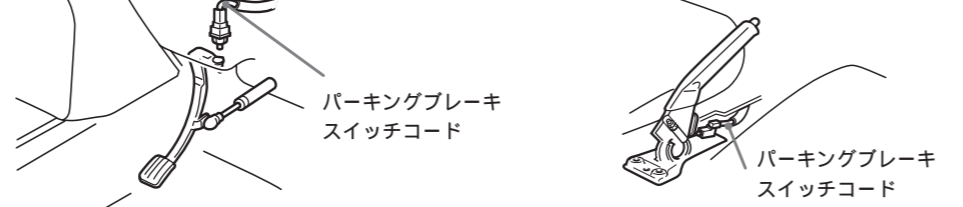


車両側の配線コネクタがギボシ加工されていないときは、上図のようにアンテナコントロール電源端子のコードを切断し、市販のギボシ端子を取り付けてください。(車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や、手動式のロッドアンテナの場合は接続の必要はありません。)

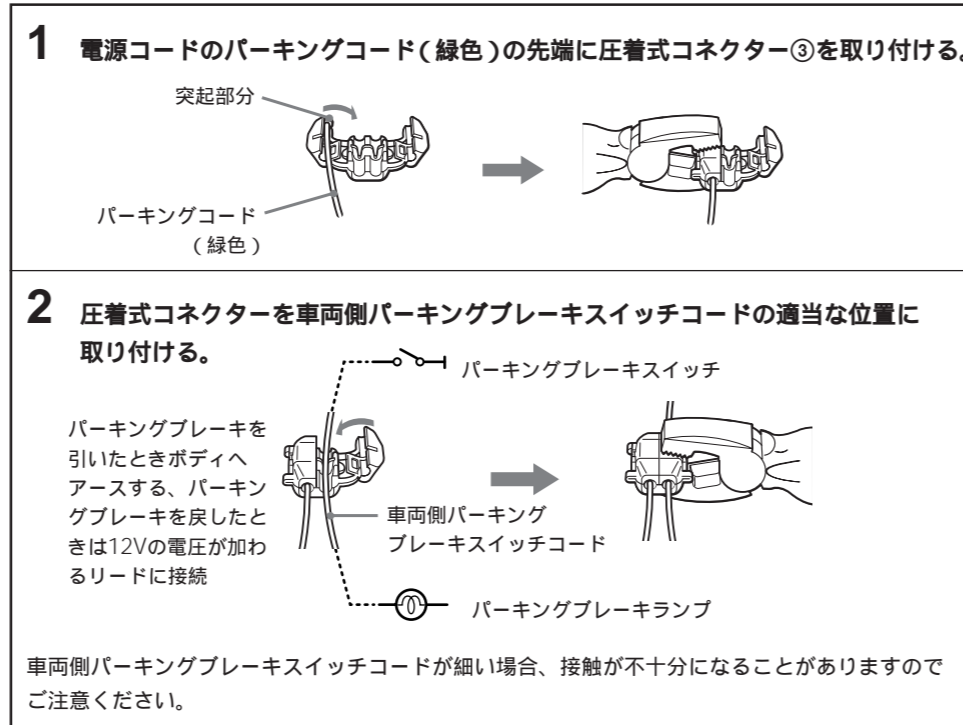
## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合      パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



### 圧着式コネクタ(赤)③の使いかた



車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

## 警告 安全のために

### 警告表示の意味

- 「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

- 注意を促す記号
- 火災 感電
- 行為を禁止する記号
- 禁止 分解禁止



本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

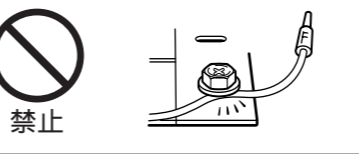


助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける  
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

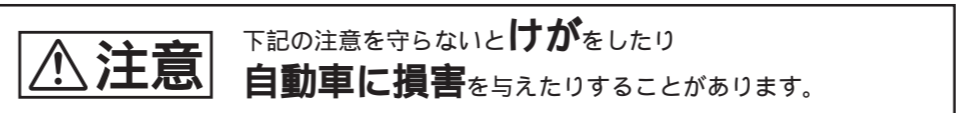


運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける  
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



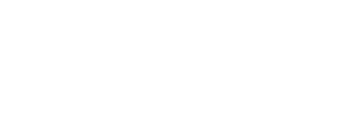
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない  
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



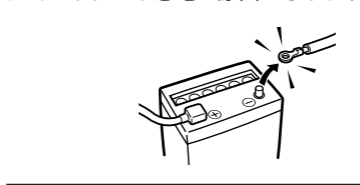
安定した場所に取り付ける  
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



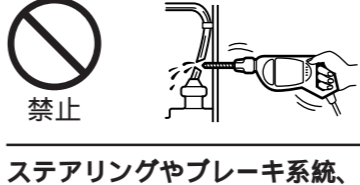
TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける  
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす  
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない  
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

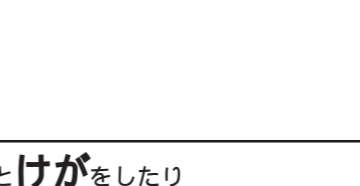


ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない  
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない  
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

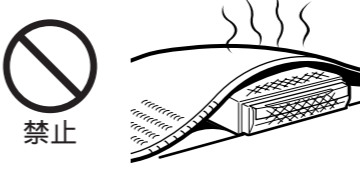


規定容量のヒューズを使う  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



付属の部品で正しく取り付ける  
他の部品を使うと、機器の内部を傷つくと、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない  
フロアカーベットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



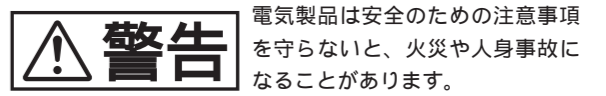
アンテナは確実に両面テープで固定する  
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



## インフォメーション ナビシステム

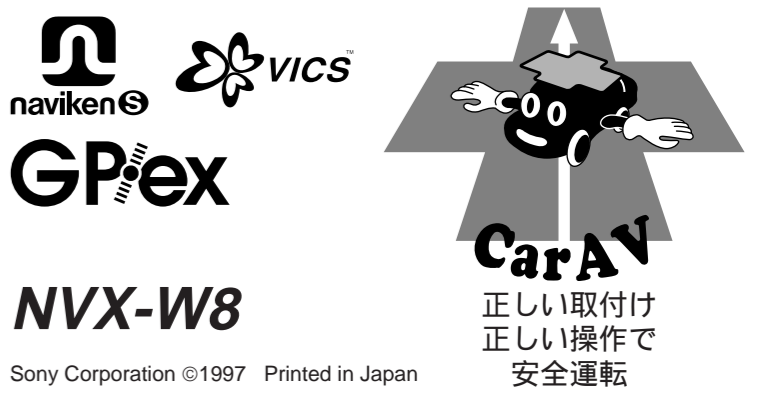
### 取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。



この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

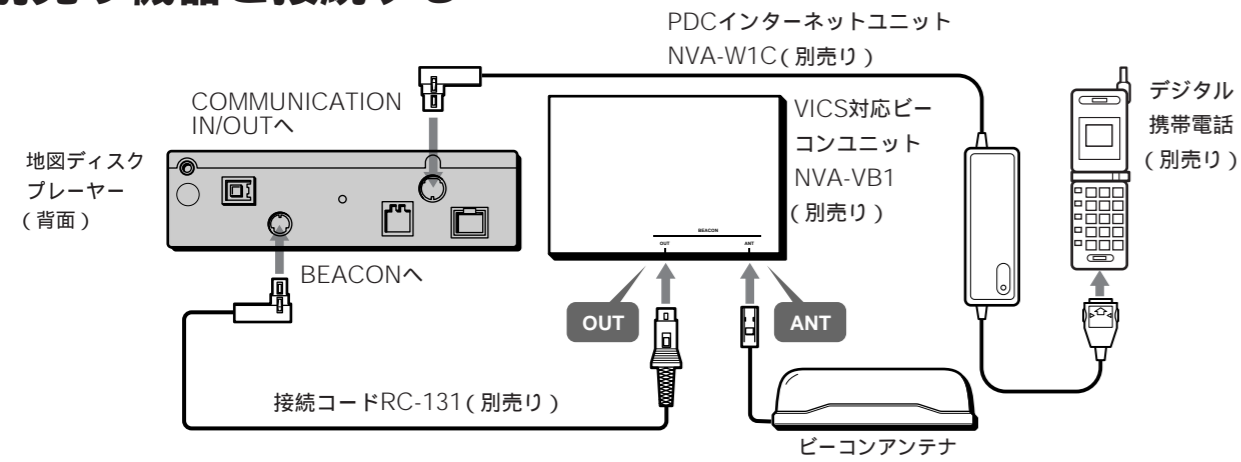
取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



## 取り付け / 接続部品

- 地図ディスクプレーヤー用
- ① 電源ケーブル×1
  - ② 電源延長ケーブル×1
  - ③ 圧着式コネクタ(赤)×1
  - ④ 圧着式コネクタ(ピンク)×2
  - ⑤ 日産専用プレート×1
  - ⑥ 取り付け金具×2
  - ⑦ 取り付け金具×2
  - ⑧ 皿ネジ×5(予備1含む)
  - ⑨ ネジ×5(予備1含む)
  - ⑩ ワッシャー×4
  - ⑪ ナット×4
- リモコン用
- ⑫ リモコン受光部×1
  - ⑬ リモコンホルダー×1
  - ⑭ 両面テープ×1
  - ⑮ コードクランパー×2
- GPSアンテナ用
- ⑯ クッション×1
  - ⑰ コードクランパー×5
  - ⑱ 両面テープ×1
  - ⑳ カーアンテナ用アンテナ分配器×1

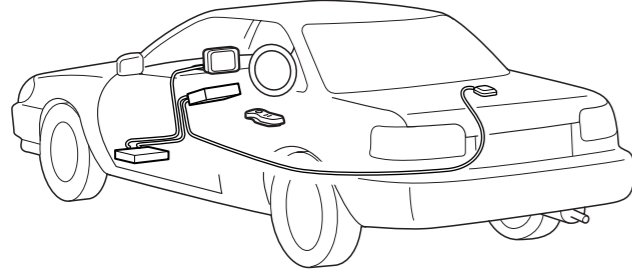
## 別売り機器と接続する



**ご注意**  
CD/ROMチェンジャー-CDX-R61やATISユニットXA-160A、165Aは接続できません。

### 取り付け前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



**ご注意**  
次のような場所への取り付けは避けてください。  
・高温になる場所。  
・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

## 地図ディスクプレーヤーの取り付け

### センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

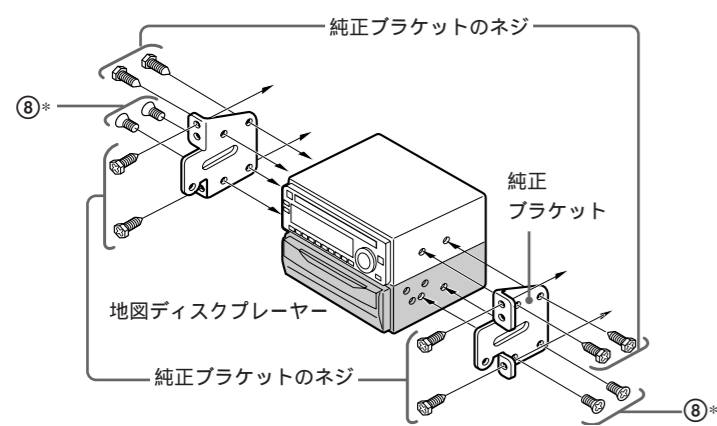
お車がトヨタ車、日産車、三菱車以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

取り付けの際は、水平20°以内に付けてください。

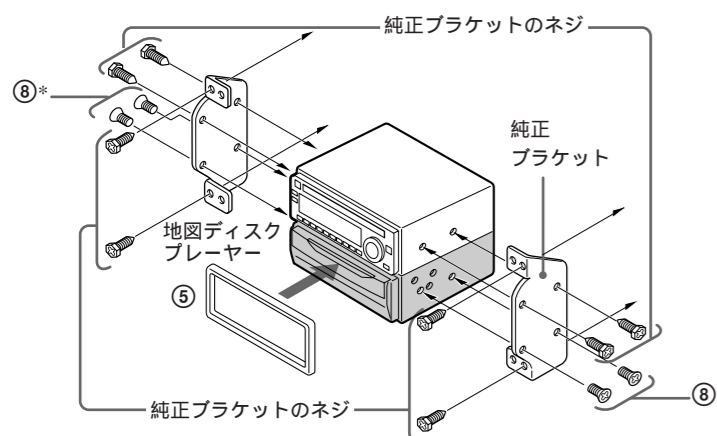
#### 地図ディスクプレーヤーを取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

#### トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

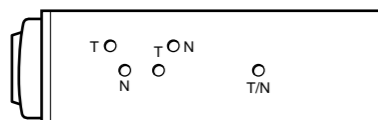


#### 日産車の場合



**ご注意**  
・地図ディスクプレーヤーの上部に物をはさみ込まないでください。  
・純正ブラケットを地図ディスクプレーヤーに取り付けるとき、地図ディスクプレーヤー側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付け穴を合わせて、付属の皿ネジ⑩で取り付けください。

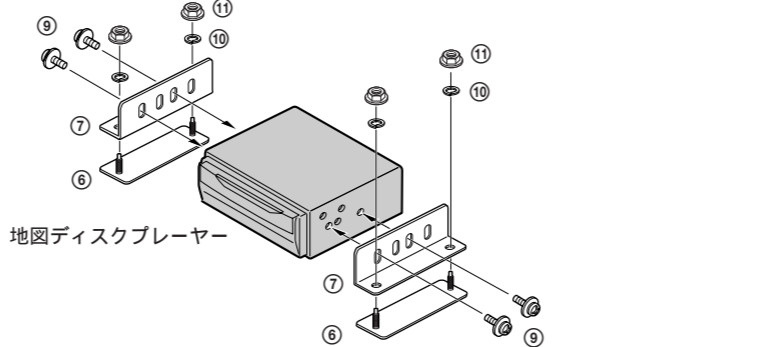
\*必ず付属の皿ネジ⑩で取り付けください。他のネジを使用すると故障の原因になります。



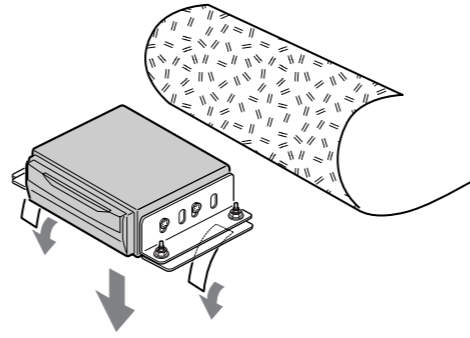
### 助手席の下やトランクルームなどに取り付ける場合

横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

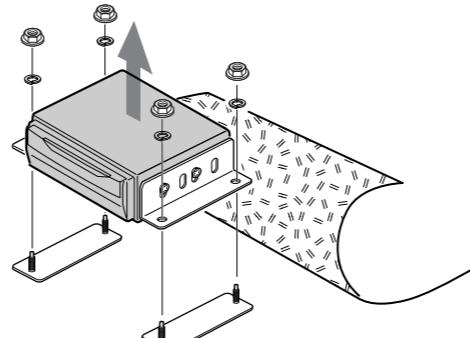
#### 1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止めする。



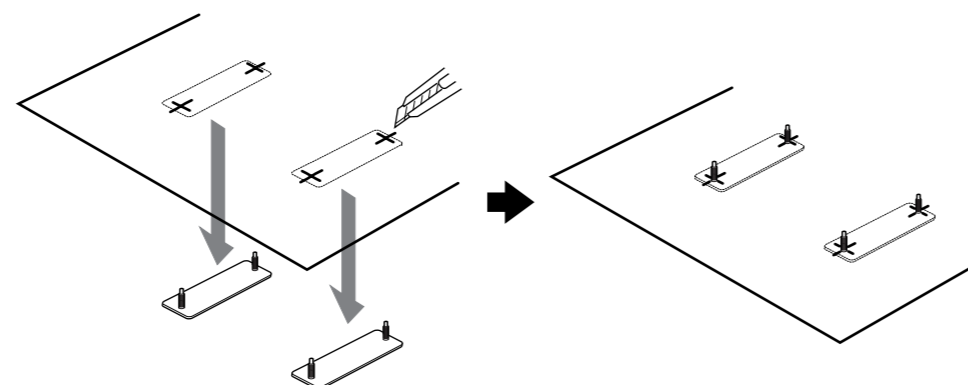
#### 2 カーペットを外して金具を固定する。



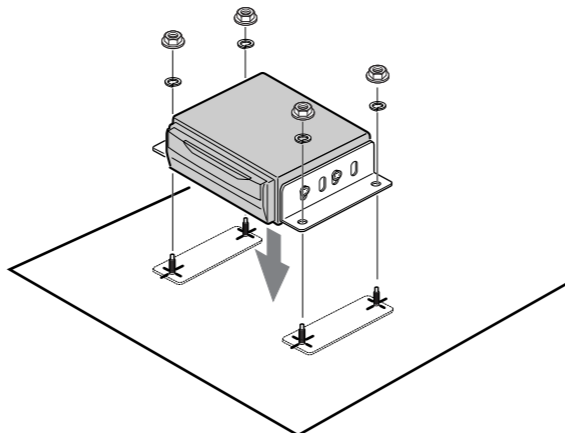
#### 3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



#### 4 カーペットに穴をあけてかぶせる。



#### 5 地図ディスクプレーヤーを固定する。

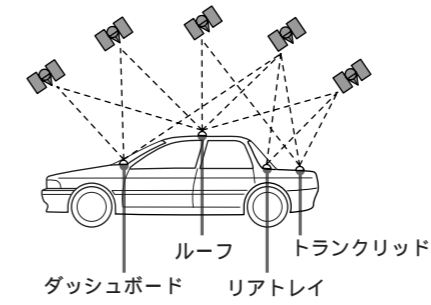


**ご注意**  
・トランクルームに取り付ける場合は、電源延長ケーブル②のかわりに別売りの電源延長ケーブルRC-129P(5m)をお使いください。  
・必ず付属のネジ⑩で取り付けください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

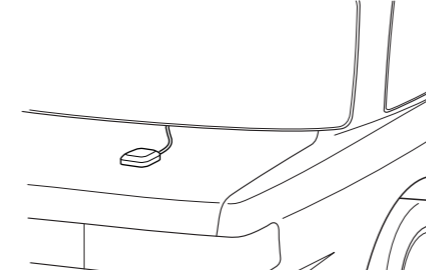
## GPSアンテナの取り付け

### 車外に取り付ける場合

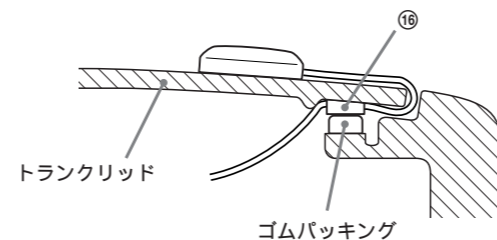
GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。  
GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。  
**アルミやFRPボディの車に取り付ける場合**  
アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。



**1** トランクリッドなどの上に取り付ける。  
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



**2** トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。  
雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑩が当たるように取り付けてください。



**ご注意**  
・コードを車外でたるませたままにしないでください。  
・コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑭をご使用ください。  
・取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。  
・自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。  
・GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスクプレーヤー)の故障の原因となります。

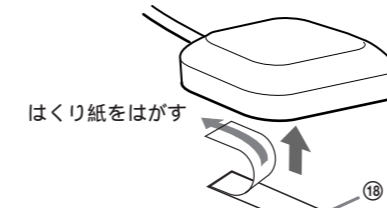
### アンテナの塗装について

アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

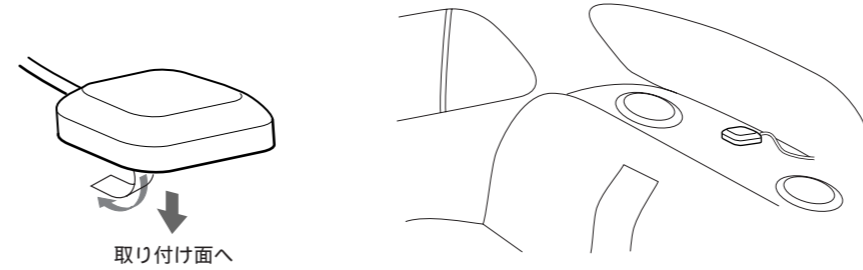
### 車内に取り付ける場合

・リアトレイやダッシュボードに取り付けます。  
・平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。  
・できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外のトランクの上などに付けてください。

#### 1 アンテナに両面テープ⑩を貼り付ける。



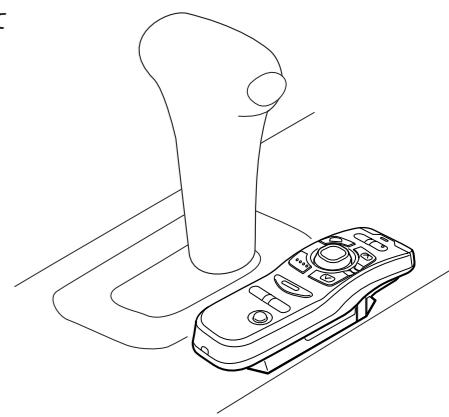
**2** はくり紙をはがして接着する。  
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



**ご注意**  
一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

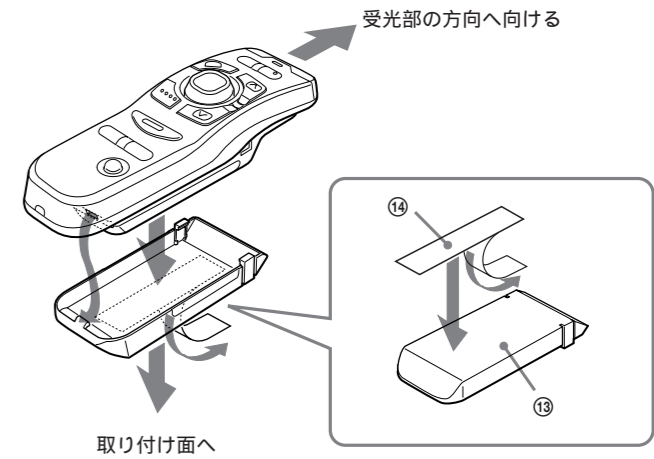
## リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。



**ご注意**  
次のような場所への取り付けは避けてください。  
・シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになる場所。  
・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる場所。  
・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある場所。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付けます。  
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



**ご注意**  
直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

## リモコン受光部の取り付け(他社モニターを接続する場合)

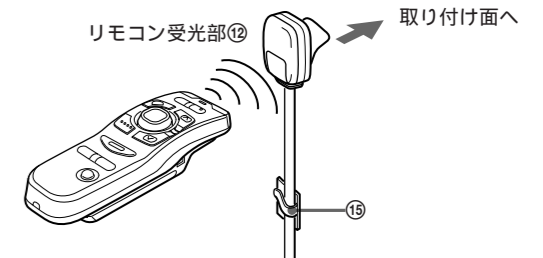
他社のモニターのみを接続する場合は、付属のリモコン受光部⑭が必要です。

**ご注意**  
別売りのモービルカラーテレビXTL-610を接続する場合、リモコンの操作はモニター受光部に向けて行いますので、リモコン受光部は不要です。

### 取り付け位置のポイント

リモコンをホルダーからはずしてお使いになるときに、リモコン受光部にリモコンを向けて操作できる位置に取り付けてください。

はくり紙を剥がして取り付けます。  
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



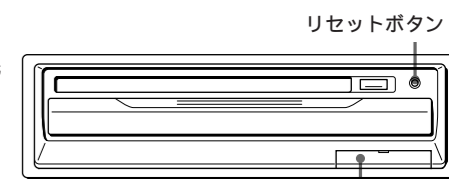
取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにコードクランパー⑭で固定してください。

## 取り付けと接続が終わったら

### コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

**ご注意**  
・ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。  
・ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。  
・車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押してください。



別売りのスタンドGM-500(11月発売予定)を取り付けることができます。